

平成27年



1月号
12月25日発行

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

森下ふれあいセンターだより (森下分館)

住所：江東区森下5-11-1 電話番号：5624-6030

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：第2・4日曜日

ホームページ：<http://kotoroufuku.web.fc2.com/>

2015年新春 紙上特別企画

●昭和の「ネエ小唄」を振り返る

▼昭和初期の流行歌の中に、「ネエ小唄」または「ネエ歌謡」と呼ばれたものがある。女性が男性に向かって「ねえ、…」とか「…ね。」と思いを語りかける言葉が歌詞の中に繰り返し出てくるものである。▼その嚆矢は昭和4年8月にレコードが発売された『愛して頂戴』（西條八十作詞、蒲田音楽部一松竹蒲田製作の映画主題歌ではあるが、実は中山晋平一作曲、佐藤千夜子歌、ビクターレコード）であろう。レコード歌謡が勃興期にあった当時、やはり歌の女王の座に君臨していた佐藤が、「ひと目見た時好きになったのよ…ねえ、ねえ、愛して頂戴ね」と豊麗な美声で歌ったこの歌が大流行したことが、同じ傾向の歌の流行を招いたと考えられる。翌年に発売された『ザッツ・オーケー』（多蛾谷素一作詞、コロムビア文芸部一実は戦前期編曲家として活躍した奥山貞吉一作曲、河原喜久恵歌、コロムビアレコード）は、「いのね誓つてね」と興奮した調子で訴える女性に対して、頼りなさそうな男性の声が「O.K.、O.K.、ザッツ・オーケー」と答えるという、「モダン」「エロ」「ナンセンス」といった当時の都市文化の一面を髣髴とさせる作品である。どちらも作曲者が匿名なのは共通した理由によるのかどうか不明であるが、このような女性の愛欲を率直に表現した歌の作者であることを公表することは、音楽学校で正規の教育を修めた音楽家にとって抵抗があったのであろうか。▼その後間もなく、我が国は昭和6年の満州事変の勃発を契機に戦争の時代に突入していく。国家による思想と言論の統制は当然流行歌の世界にも及んだ。昭和9年からは内務省が行う検閲を通過したレコードのみが発売を許可されたが、やはり出てきた歌が国策や戦時体制に沿わないものであれば、一度発売を許可されたレコードでも発売禁止の憂き目にあった。後に大歌手となる渡辺はま子にとって初の大ヒットとなった『忘れちゃいやヨ』（最上洋作詞、細田義勝作曲、ビクター 昭和11年）は、このようにして発売禁止になった「ネエ小唄」の代表的な作品である。音楽学校卒業後、女学校の音楽教師も勤めた清纯歌手・渡辺には、このような歌の解釈と表現は難しく、レコーディングではダメ出しがくりかえされた。うんざりして泣き声になって「ねえ、忘れちゃいやヨ」と歌ったのが功を奏してかヒットしたものの、それが「あたかも娼婦の嬌態を眼前で見るが如き歌唱」と断罪され、発売禁止となった。▼翌12年には、当時すでに大ヒットメーカーであった古賀政男作曲のネエ小唄、1月に発売された『あゝそれなのに』（星野貞志一サトウ・ハチローの変名一作詞、美ち奴歌、テイチレコード）が大ヒットとなった。サラリーマンの夫の帰宅を待ち侘びる若妻の切ない気持ち、「それなのに、ねえ、怒るのは当たり前でしょう」と歌われた。古賀はこれ以前の8年にも『ほんとにそうなら』（久保田宵二作詞、赤坂小梅歌、コロムビア）で「ほんとにそうなら嬉しいね」と歌われるネエ小唄のヒット作を発表していたし、戦後の26年にも「ねえ、トンコトンコ」の『トンコ節』（西條八十作詞、コロムビア）を大ヒットさせることになる。▼話を戦前に戻して、このような一応は平和な歌の世界も12年7月に勃発した盧溝橋事件に始まる日中戦争の拡大の影響を大きく受けることになる。もはや、女性が個人的な願望を「ネエ」と訴えるような歌が発売される余地はなくなった。日中戦争開戦後の流行歌は、戦意高揚や軍国主義の礼賛をテーマとした「軍国歌謡」が席捲していった。▼そんな時代の中、流行やお色気とは一線を画したネエ小唄が作られていた。「楊柳（やなぎ）芽をふくクリークで 泥にまみれた軍服を 洗う姿の夢をみた…」（クリークは小規模な運河のことで、中国のものを当時特にこう呼んだ）で始まる『ほんとにほんとに御苦労ね』（野村俊夫作詞、倉若晴生作曲、山中みゆき歌、ポリドールレコード 14年4月）である。中国大陸に出征中の夫を内地の妻が心配する気持ちを歌ったこの歌は、政府や軍による苛烈を極めた思想統制と情報操作が行われていた状況の下で発表された作品である以上、その中に日本との戦闘で多大な被害を被っていた中国の人々への視点は皆無である。しかし、それでもこの歌は、当時の日本の多くの大衆の心情に焦点を当て、それを可能な範囲で表現したという点で、敗戦まで発表され続けた数多くの軍国歌謡の中では、最も良質な軍国歌謡であったと思う。詞の中に戦死や攻撃を奨励したり讚美したりする言葉はなく、曲調は当時の多くの一般大衆が辿らざるを得なかった悲惨な運命とその中で生きる心情を暗示するようにやや重く暗い感じで、兵士を鼓舞するような勇壮さはない。歌手も美声だが地味に、丁寧に歌って、内容を適格に表現している。歌は最後にこう結ばれている。「老いた両親（ふたおや）たのむぞと 書いた勇士のあの音信（たより） ホントニホントニ御苦労ね」▼大衆の心情を見事に表現した流行歌が盛んに作られた昭和時代、多くの戦争犠牲者が出て、その後も長く傷ついた人々が生きた昭和時代、さまざまな分野の大衆文化が隆盛した昭和時代…。この時代が生んだ歌の数々に耳を傾けると、世界中にいる平和を望む人々が、いまだ絶えることのない戦禍を被ることなく、平和な社会で楽しく幸せに生きられるように願わずにいられない。（SHLするす）

森下ふれあいセンター 1月の予定

健…健康相談 1,3水曜 1:00~4:00 ●…事前申込が必要な行事など
印がないものは受講生確定済みの為、受講生以外の参加は出来ません。

日	曜	午 前	時間	午 後	時間	健	
1	木	 年末年始の為休館致します。 平成26年12月29日 ~ 平成27年1月3日					
2	金						
3	土						
4	日						
5	月						
6	火						
7	水					健	
8	木						
9	金						
10	土			● シネマ倶楽部	1:30		
11	日						
12	月						
13	火			水墨画	2:00		
14	水	休 館 					
15	木						
16	金			悠々英会話	2:00		
17	土						
18	日						
19	月						
20	火						
21	水					健	
22	木						
23	金			日本文学	2:00		
24	土						
25	日	休 館 					
26	月						
27	火			水墨画	2:00		
28	水						
29	木						
30	金			日本文学	2:00		
31	土			● シネマ倶楽部	1:30		